心豊かになる空間づくり

琉球風水で心地よい家づくり ①

執筆／横川明子
（琉球風水スクール「アムリタ」主宰）

「風水」といっても、さまざまな流派や鑑定法があります。まず初めに、琉球風水の特徴についてお話ししたいと思います。

「琉球風水」の特徴と考え方

沖縄への風水の伝来は、14世紀ごろ。本場中国より伝わってきましたが、中国の風水術をそのまま取り入れるのではなく、沖縄独自の発展を遂げています。

琉球風水のキーワードは、「抱護」と「氣の流れを整える」です。

風害に強く景観美も

琉球王府の三司官であった蔡温は、良い氣が風に散らされず、また、もれ出ないよう、山々や木々が包み込むように、その土地を抱いている状態を「抱護」と言い、抱護が良い所を吉地としました。

「抱護」「氣の流れを整える」が肝

抱護の形は、氣をとどめるための風水の四神相応（資料参照）の地形に一致します。抱護が欠け、氣がもれ出るところは、植林によって補われました。

また、風や水が勢いをつけて暴れ、氣が流出しないよう、道路や河川など氣の流れるラインは、ゆるやかな曲線を描くようにして、氣の流れを整えました。蔡温は、風水の概念を取り入れて氣を守り、氣の流れを整えるさまざまな政策を実行しています（左上写真）。

沖縄は、冬に北側から吹く季節風と、夏場の台風による東風の影響が大きいため、四神相応の概念も、風害に対応できるようアレンジされています（左下写真）。機能性が高く、暮らしに役立つ実学としての一面は、琉球風水の特徴です。

また、景観としても美しいことから、デザイン性も高いと言えます。さらに木々によって抱き守られるという状態は、私たち人間にとって感覚的な心地よさを生み出します。

実用的なだけでなく、美意識や精神的な安心感にもアプローチし、感性的にも価値の高い空間を作り出しているのも、琉球風水らしさと言えるでしょう。

住まいに心を傾ける

現代の沖縄では、台風に強いコンクリート住宅が主流となり、室温の調整も簡単にできるようになりました。風水の機能性や実用性のメリットだけに着目すれば、現代の技術の方が優れている点もたくさんあります。

しかし、風水が大切にしているのは、自然との調和です。自然と共に過ごし、五感で自然を感じることに大きな意味があります。自然の美を感じながら自然に抱かれ、良い氣の流れる空間で過ごすことは、「守られている」「心地が良い」という感覚を得ることができる、一つの理由になるのかもしれません。

この連載ではこれから、琉球風水の考え方に基づき、現代住宅の整え方をご紹介していきます。風水を実践する時は、常に現場に立って、その場の氣を感じて判断してください。

住宅に心を傾け、そこに住むあなたとご家族の心が、美しく豊かになる空間をつくるために、琉球風水を利用していただければと思います。

＝第3週に掲載

琉球王府時代の国家事業にも

蔡温松並木保全公園（国頭村辺戸）

蔡温（さいおん）は、中国に留学して風水を学び、その後、国家事業に大々的に風水を取り入れていきます。木材供給を持続可能にするための山林政策や、河川の改修工事、農地整備や集落の形成、民家の造りなどにも風水が取り入れられています。写真は、蔡温の時代、氣を守るために植林された琉球松が残る「蔡温松並木保全公園」。

人為的につくり出す四神相応の地

屋敷抱護（中村家住宅）

四神相応の地は、周辺が山々に囲まれていることが風水の基本概念ですが、琉球では平地の集落や屋敷にも応用されました。その場合は、氣をもらさないよう、山の代わりに、屋敷の周囲を小高い丘としたり、フクギなどを植林して抱護を人為的につくり、風害から守られるような環境づくりが行われました。

資料

四神相応

背後に玄武、左手に青龍、右手に白虎、前面に朱雀と、四種の霊獣が集合し、守護する土地を「四神相応の地」と呼びます（上図）。四神の山々によって環のように取り囲まれている内側は、守られた空間であり、風水上吉相の地です。

四神相応の地は、物の形から生じる氣エネルギーの流れをみて風水判断を行う、「形勢派」と呼ばれる流派の基本概念です。首里城の風水や村落の形成なども、四神相応の地であることが重視されました。

よこかわ・あきこ ／東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。☎098-943-6948（受付時間/月～金10時～16時、土日祝休み）。
ホームページ http://aromarine.jp
ブログ http://ameblo.jp/marine-sapphire/

陰陽バランス整う間取り

陰陽方位、プライベート・パブリック空間

琉球風水で心地よい家づくり ②

執筆／横川明子
（琉球風水スクール「アムリタ」主宰）

陰陽のバランスのとれた家は、快適で居心地の良い空間になります。陰陽方位と陰陽空間、プライベート・パブリック空間の、琉球風水の考え方についてお話します。

王朝時代の伝統的な琉球民家は、陰と陽の方位に、陰陽空間および、プライベート空間・パブリック空間が相性良く割り当てられ、うまく分けられていました＝資料参照。

現代住宅は、家の向きも間取りもさまざまです。しかし、陰陽バランスを整える間取りの考え方は、現代の家づくりにも大いに参考になります。

太陽光基準にエリア分け

風水思想では、全ての物質や現象は、陰と陽によってつくられていると考えます。陰と陽は、ある存在の相対する性質で、優劣はありません。どちらか一方が欠けてしまうと存在できなくなります。住環境に限って考えれば、表1のようになります

琉球風水鑑定における「陰陽方位」とは、太陽光を基準に、住環境を陰と陽のエリアに区別したものです。

北のつく方位（北西・北・北東）は、「陰の方位」。日当たりが弱く、落ち着いて静かな方位であり、陰の空間に適しています。

南のつく方位（南東・南・南西）は、「陽の方位」。日光に恵まれ、明るく、にぎやかで活動的な方位であり、陽の空間に適しています。東と西は、「半陰半陽方位」で、陰と陽、どちらの空間がきても問題はありません。

部屋の機能や性質に着目

「陰陽空間」は、部屋の機能や性質、その部屋における人の活動などによって決定されます。方位には関係しません。

「陰の空間」は、寝室や水回りなど、家族が使うことが多く、静かに過ごす部屋で、主にプライベート空間。一方、「陽の空間」は、玄関やリビングなど、人の出入りや動きが活発なにぎやかな部屋で、主にパブリック空間です＝表2。

しかし、常に陰の空間がプライベート空間で、陽の空間がパブリック空間になるわけではありません。例えば、陰の空間であってもトイレや洗面所など、来客も使用する空間はパブリック空間の一面を持ちます。

陰の空間は、陰の方位（北側）や家の奥側と相性が良く、陽の空間は、陽の方位（南側）や家の表側と相性が良いと考えます。琉球風水鑑定では、方位と空間の相性を判断するため、図面に方位を書き入れ、チェックします＝図1参照。

方位と空間の相性は、数ある風水判断基準の一つです。その他の鑑定法とのバランスを見て、総合的に判断をします。そこに住む人が幸せに暮らすことを第一に考え、そのために必要となる風水の考え方を選び、利用してください。

＝第3週に掲載

方位と空間の相性を考える

表1 住環境における陰陽の特徴

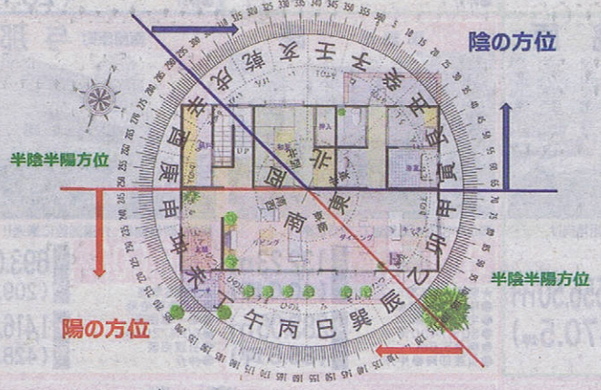
陽の場所	陰の場所
明るい所	暗い所
活動的な所	休止的な所
赤や暖色系の色	青や寒色系の色

表2 住環境と陰陽空間

陽の空間	陰の空間
窓、出入り口	壁
前庭	裏庭
駐車スペース	水回り
アプローチ	寝室
門、玄関	個室
リビング・ダイニング	収納
客間	書斎・受験生の部屋
パブリック空間	プライベート空間

資料協力／和来龍

図1 琉球風水の陰陽方位鑑定図面

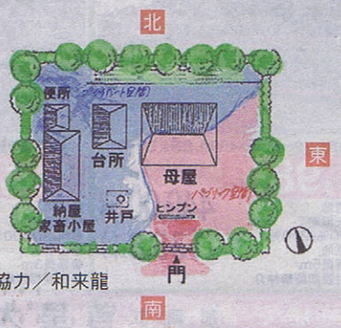


琉球風水鑑定では、上図のように、住宅の中心と羅盤の中心を合わせ、陰と陽、それぞれの方位にどの空間が、どう配置されているのか確認します。方位と空間の相性をみて、相性が悪い場合には、採光、照明、カラーなどにより、不足している要素を補って、室内環境の陰陽バランスを整えます。

また、プライベート空間とパブリック空間の境界線をみて、プライベートエリアが来客の視線にさらされず、心地よいと感じられる状態になっているかもチェックします。

資料

琉球民家のプライベート空間・パブリック空間



資料協力／和来龍

琉球民家は、北側を背にして、南側を向くことを基本としています。陰の方位に陰の空間とプライベート空間、陽の方位に陽の空間とパブリック空間が来ており、陰陽のバランスが整っています。

プライベート空間とパブリック空間がきれい分かれていると、来客が多くても家族のプライベートは守られていて、過ごしやすい空間になります。

よこかわ・あきこ ／東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。☎098-943-6948（受付時間/月～金10時～16時、土日祝休み）。
ホームページ http://aromarine.jp
ブログ http://ameblo.jp/marine-sapphire/

陰陽バランスの整え方 1

「心地よい」感覚を基準に

琉球風水で心地よい家づくり ③

執筆／横川明子
（琉球風水スクール「アムリタ」主宰）

今回は、明るく活動的な性質を持つ陽の空間について、室内環境の陰陽バランスの整え方を解説します。

明るく、活動的な陽の空間

リビングは南側と相性◎

陽の空間（表1）の中から、リビングを例に考えてみましょう。

陰陽バランスの視点から言えば、陽の空間であるリビングは、陽の方位である南側に配置されていると、部屋の性質と方位の氣が調和し、相性が良いと考えます（図1参照）。

一方、リビングが陰の方位に位置すると、部屋と方位の氣が調和していません。しかし、陰陽バランスに配慮して、色や材質を適切に選び、室内環境を整えていくことで、調和の取れた空間をつくることは可能です（表2参照）。

リビングは人が集まるにぎやかな空間で、陽の氣を好みます。部屋の陰陽バランスを整える際は陽の比率が高くなりますが、くつろぎの空間でもあるので、適度に陰の氣も必要とします。そこに暮らす人がどんな気持ちで過ごしたいのかを考え、「心地よい」という感覚を基準に陰陽のバランスを意識して、室内環境を整えていきましょう。

＝第3週に掲載

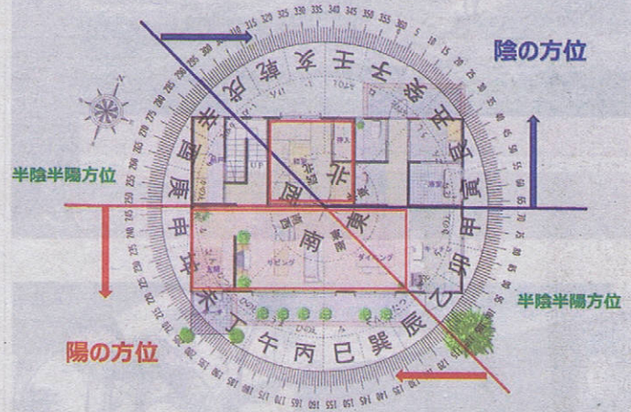
よこかわ・あきこ ／東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。☎098-943-6948（受付時間/月～金10時～16時、土日祝休み）。
ホームページ http://aromarine.jp
ブログ http://ameblo.jp/marine-sapphire/

陽の空間
玄　関
リビング
ダイニング
和　室
客　間　など

表1 住宅内における陽の空間

住宅内における陽の空間とは、人の出入りや動きが活発でにぎやかな部屋。主にパブリック空間です。

図1 陰陽空間と陰陽方位の図面



陽の空間を赤で囲いました。玄関、リビング、ダイニングは陽の方位にあり、氣が調和しています。和室は、陰の方位にあります。ですから、パブリック空間としての機能を優先する場合は、陽の氣を補い、夜は寝室として使うのであれば、陰の氣を生かします。その部屋が陰の空間か、陽の空間なのかは、住む人がどう暮らすかによって決まります。部屋の使い方に応じて心地よく過ごせるよう、陰陽バランスを整えましょう。

表2 室内環境の整え方【リビング】

■ 陽の方位（南側）にある場合

陽の氣を生かす

氣が調和しています。もともと自然に備わっている陽の氣をできるだけ生かせるよう、開口部を大きく取り、全体的に白系や明るい色使いで、室内の明るさや活気を維持します。

布類は氣の流れを穏やかにする陰の傾向があります。特にソファなどの椅子類に取り入れることで、ゆったりとくつろげる雰囲気に。淡い緑も穏やかに陰の氣を補い、心やすらぐ癒やしの空間となります。

ゴールドの装飾や、表面がツルツルとしたガラスの花器は、華やかな陽の氣を持ち、アクセントとして取り入れることで、効果的に陽の氣を強めます。

赤や原色、大胆な柄物などを広範囲に使うと、陽の氣が強くなり過ぎ、暑く感じたり、落ち着かない空間になるので注意します。

■ 陰の方位（北側）にある場合

陽の氣を意識して補う

氣が調和していません。陽の氣が不足しているので意識して補い、明るい空間づくりを心がけます。ハイサイドライトや窓を大きくとるなどして、自然光を多く取り入れられるようにします。照明も明るくします。

インテリアカラーでは、壁紙や床などに、白系や明るい色を。オレンジや黄色、ピンクなどの暖色系や、柄物も陽の氣を補い、心も明るくなります。春夏に大胆な柄物を取り入れたなら、秋冬は無地でシックな色合いを選ぶなど、季節感を意識して陰陽バランスを取り、インテリアを楽しむのも良いでしょう。

また、リビングは心穏やかにくつろぐ空間でもあります。布類や、やわらかみのある木材など、陰の氣を持つアイテムもバランス良く取り入れましょう。

写真提供／マナトレーディング株式会社　協力／THE GRACE

陰陽バランスの整え方 2

色使いなどで氣を調和

琉球風水で
心地よい家づくり ④

執筆／横川明子
（琉球風水スクール
「アムリタ」主宰）

今回は、人の活動が比較的静かで、落ち着いた氣を好む陰の空間の整え方を解説します。

心穏やかに過ごす陰の空間

陰の空間（表1）の中から、洗面所を例に考えてみましょう。

洗面所は北側と相性◎

陰の空間は、光穏やかな北側の陰の方位と相性が良いと考えます。自然に備わっている陰の氣を、程よく維持することを心掛けます。陰氣になり過ぎないよう、明るい色や温かみのある色使いなどで適度に陽の氣も取り入れ、バランスを取りましょう。

一方、洗面所が南側の陽の方位にある場合は、陰の氣が不足しています。寒色系の色を使うなど意識的に陰の氣を補うことで、バランスの取れた空間をつくることが可能です（表2参照）。

陰と陽は、どちらかに偏り過ぎることを好まず、その空間の性質に合わせて必要な氣が満たされ、バランスが取れている状態を良しとします。これを踏まえた上で、空間をどうデザインするかは、住む人の美的センスや心地よさに対する感覚が中心となります。風水を取り入れながらもあなたらしく、自由にインテリアを楽しんでください。

＝毎月第3週に掲載

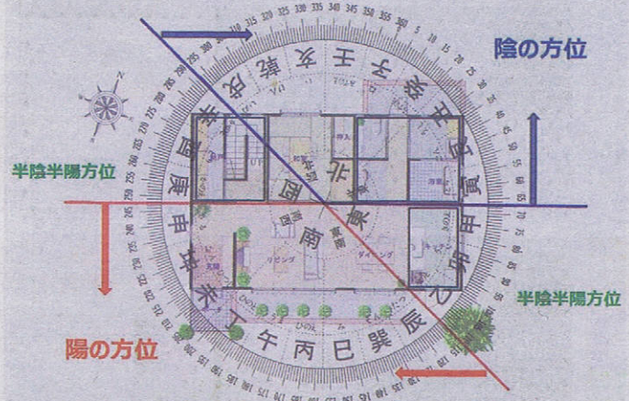
よこかわ・あきこ ／東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。☎098-943-6948（受付時間/月～金10時～16時、土日祝休み）。
ホームページ http://aromarine.jp
ブログ http://ameblo.jp/marine-sapphire/

表1 住宅内における陰の空間

陰の空間
水回り
寝室
勉強部屋
書斎
収納庫　など

住宅内における陰の空間とは、人の活動が静かで、心穏やかに過ごす部屋であり、主にプライベート空間です。

図1 陰陽空間と陰陽方位の図面



陰の空間を青で囲いました。水回りや納戸は陰の方位にあり、氣が調和しています。トイレや洗面所は陰の空間ですが、来客時にお客さまが使用する可能性があり、パブリック空間の一面も持っています。お客さまと共用するトイレや洗面所は、パブリック空間とプライベート空間の接点に近いところや、半陰半陽方位に置くと使い勝手が良くなります。

洗面台やトイレのドアは、リビングやダイニングから直接見えないように、少し奥まった所に配置すると、落ち着いて利用できるでしょう。

表2 方位に応じた室内環境の整え方【洗面所】

■陰の氣を程よく維持
陰の方位（北側）にある場合

光穏やかな落ち着きのある陰の方位と、洗面所との相性は良いと考えます。空間に陰のエネルギーが自然と備わっています。暗過ぎたり、湿気がこもるなど、陰氣が強くなり過ぎると氣が滞ります。換気、乾燥を意識して、穏やかに陽を取り入れながら、バランスを取ります。

黒やグレーなどの陰の強い色を広範囲に使うと、陰性に偏り過ぎます。淡い色使いは、陰の穏やかさを程よく維持します。

一方、白系や明るい色は、適度に陽の氣をもたらします。窓がなくて暗かったり、冬場の冷えが気になるようなら、ピンクや黄色など陽の色を入れると温かみが出てきます。

■陰の氣を意識して補う
陽の方位（南側）にある場合

活気のあるエネルギーが入ってくる陽の方位の洗面所では、陰の氣が不足するため意識的に補います。しかし、黒やグレーなどの強い陰性の色より、ブルーやグリーンといった淡い寒色系などで穏やかに陰を補ったほうが、バランスが取りやすいでしょう。

タオルなどのファブリック類や置物など、ちょっとした小物の色を意識し、統一感を出すことで、不足している氣を補うことができます。

また、目に映るアクセントとなるものに、華やかさをプラスすることは、良い意味で陽をプラスします。パブリック性の一面にも配慮した美しい空間づくりも、陰陽バランスを整えるというアプローチから、ぜひ、実践してください。

家づくりにおける琉球風水実践法　部屋別1

何を見て暮らすか考える

琉球風水で心地よい家づくり ⑤

執筆／横川明子
（琉球風水スクール「アムリタ」主宰）

今回から、家づくりをする際に考慮したい、風水の視点からみた各部屋のポイントをお伝えしていきます。最初に解説する部屋はリビングです。

家づくりをする際はまず初めに、「どんな暮らしがしたいのか」をよく考えることが大切です。その上で、家族が集まるパブリック空間を中心に考えていくと良いでしょう。

開口部を大きくとる

リビングは陽の氣を必要とするため、開口部を大きく取るべき空間です。窓の外に何が見えるかも重要ですので、庭も住宅の一部と考えて家づくりをしましょう。土地が持っている性質を生かし、どちらの方角を向き、何を見て暮らしたいかを、最初の時点でよく考えてください。

家族愛深め、人集まるリビング

リビングは、家族の愛情運に加え、来客をもてなす場でもあることから、社交運・交際運をつかさどる空間です。

リビングが心地よければ家族が自然と集まり、心が明るくなって、毎日を笑顔で過ごすことができます。おもてなし空間としても意識して整えることでお客さまも多くなり、外から良い氣が運ばれてきます。

住んでからをイメージ

リビングの設計における具体的な琉球風水の実践法を、6つ紹介します（左囲み参照）。

家具のレイアウトや毎日の片付け、掃除など、住み始めてからの暮らしを具体的にイメージすることにより、良い氣の流れる空間づくりに必要な要素を、設計の時点で組み入れることができます。リビングに風水を取り入れて心地よい空間に整え、家族の愛情運や社交運・交際運を良くしましょう。

＝毎月第3週に掲載

リビング設計における6つのポイント

現在住んでいる家のリビングの現状を見て、下記のポイントがどうなっているか、自分なりに分析してみてください。すべてを実践しなくてはいけないととらわれずに、できることを一つでも取り入れてください。

ポイント1

何を見て暮らすかを考える

リビングの開口部から花や緑など、いつも美しい景色を眺めて暮らせるように配慮すると、毎日がより豊かになります＝上写真。

ポイント2

リビングは南側の陽の方位と相性良し

北側のリビングや南側に窓がない場合、色使いや照明で明るく活気が出るよう室内環境を整えます。

ポイント3

玄関からの動線が良い配置に。ただし、玄関からリビングが丸見えにならないように

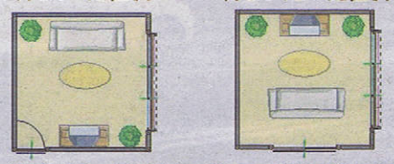
プライベート空間を通過せずに、玄関からスムーズにリビングに入ることができるような動線が理想です。ただし、玄関ドアを開けると同時に、リビングが丸見えになってしまうような造りですと、落ち着きません。視線を遮ることができるよう、穏やかな仕切りは必要です。ヒンプンのイメージです。

ポイント4

収納スペースを確保し、モノの「見せる」「見せない」をきちんと分ける

モノもたくさん集まってくる場所なので、大きいものから細かいものまで、しっかり収まるスペースが必要です。暮らしの中で使うモノは隠す収納を心掛けると、空間がすっきり見えます。また、パブリック空間ですので、ディスプレー専用スペースをつくり、毎日が楽しくなるよう飾りつけをしましょう。見せるモノか、見せないモノか、モノの役割を区別することがポイントです。

ソファのレイアウト



ソファは扉を向き、入り口から入ってくる人が見えて安心。

ソファの背後は壁で保護され、守られている。

ソファの背後に入り口があり人が入ってきても分からない。

背後が無防備になり、悪い氣を背中で受ける。

資料提供／横川明子

ポイント5

入り口が見える位置に座る

ソファはできるだけ壁を背後にして、入り口が見える位置に座ります＝上図参照。間取りの関係やソファを複数置く場合など、すべて好ましい配置にするのは難しいですが、背後に入り口がこないように気を付けてください。

よこかわ・あきこ ／東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。☎098-943-6948（受付時間/月～金10時～16時、土日祝休み）。
ホームページ http://aromarine.jp
ブログ http://ameblo.jp/marine-sapphire/

ポイント6

毎日の掃除を楽にする配慮

毎日のこまめなお掃除が必要な部屋です。お掃除をロボットに任せるのであれば、床の段差をなくしフラットにすると、スイッチ一つでお掃除できます。また、水拭きのできない素材は、お掃除が難しくなりますので、家事に負担がかからない建材を選ぶことも大切です。

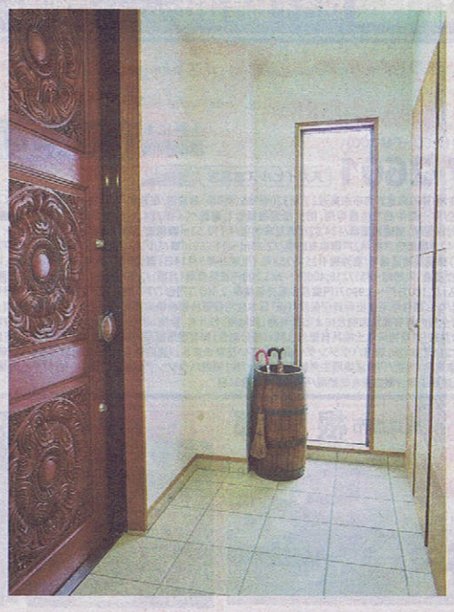
家づくりにおける琉球風水実践法 部屋別2

良い氣を招く形をつくる

琉球風水で心地よい家づくり ⑥

執筆／横川明子
（琉球風水スクール「アムリタ」主宰）

玄関は、住宅に入ってくる氣の入り口となる空間です。氣の流れを意識し、良い氣を引き込むことができる形をつくります。



玄関は家の顔になる場所ですので、格を意識した上質な空間に。家の大きさとバランスのとれた、十分な広さも必要です

玄関は家の顔。最も重視

玄関は、風水では最も重要視する空間です。構造的な氣の流れの良さはもちろん大事。さらに、風水上で良いとされる空間が楽に維持できるように考えて設計することで、住み始めた後の暮らしにおける風水術も簡単に実行できます。

S字描くように誘導

風水では、直線的な氣の流れはスピードが速く、悪い氣となります。門から玄関ドアへのアプローチや、玄関ドアから家の奥へつながるラインは、できるだけS字のようなゆるやかなカーブを描くように、氣の流れを整えていきます。

琉球民家のヒンプンをイメージしてみると分かりやすいでしょう。動線がゆるやかにカーブすれば入り口から家の奥が見えず、プライバシーが守られます。

収納スペースを確保

玄関で暮らしにおける風水術を楽に実践するためには、収納スペースの確保が重要です。

玄関は置くべきモノがたくさんある場所です。設計の時点であらかじめ収納スペースを確保しておかなければ、住み始めてから収納家具を買い足すこととなり、いろいろな意味で室内環境のバランスが崩れてしまうことが多々あります。

玄関は、家族の人数分の靴とディスプレーして見せるもの以外は、収納に収めることが暮らしにおける風水術の基本です。それが、毎日、楽にできるよう収納計画は事前に十分検討しましょう。

左記のポイントも参考に、心地よい空間づくりに役立ててください。＝毎月第3週に掲載

玄関設計における4つのポイント

ポイント1 陽の氣を好むので明るい室内環境に

玄関は、陽の氣を必要とするパブリック空間で、陽の方位（南東・南・南西）と相性が良いです。自然の光を取り入れて、明るい空間に＝上写真。陽の方位にあっても窓がない場合や、北側の陰の方位にある場合、陽の氣が不足しがちです。インテリアカラーや照明などで明るい空間になるよう、室内環境を意識して整えます。

ポイント2 鏡を配置する場合、左右どちらかに

鏡は玄関の重要なアイテム。置き方によって吉にも凶にもなります。玄関に鏡があると、良い氣が増幅して室内に流れ込んでいきます。設置する上で、注意点が3つあります。

①玄関ドアの正面に鏡を設置しないこと。扉の正面に鏡があると、入ってきた氣を外に跳ね返してしまいます。

②鏡の前を通る人（そこに住む家族全員）の頭部が、全て映り込むような高さに設置する。

③鏡に映り込むものも重要＝右上写真。花やグリーンなど、生命力のある植物は良い氣を発し、鏡に映り込めばその氣も増幅します。一方、見た目が良くないものが映り込んでいると、その氣も増幅してしまいますのでご注意を。

ポイント3 十分な収納スペースを

収納スペースを確保するため、玄関に置くモノは何かを考え、チェックしてみましょう。

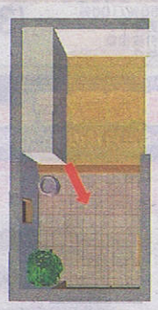
- □ 靴　□ 傘
- □ スリッパ（来てほしいお客さまの人数分のスリッパが収納できるように）
- □ 自転車・ベビーカー・キックボードなどの乗り物
- □ 掃除道具　□ 工具
- □ アウトドア・キャンプ・スポーツ用品
- □ 帽子・サングラス
- □ エコバッグ・かばん類
- □ ペット用品
- □ 外遊び用のおもちゃ（虫取り網、ボールなど）
- □ ガーデニング用品
- □ 車用品

※その他、あなたの暮らしで必要なものを書き出し、どれだけの収納スペースを確保する必要があるか、よく考えましょう。

よこかわ・あきこ ／東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。☎098-943-6948（受付時間/月～金10時～16時、土日祝休み）。
ホームページ http://aromarine.jp
ブログ http://ameblo.jp/marine-sapphire/

ポイント4 玄関ドアから入ってきた人にとがった形が向かないように

とがった形状のものは、悪い氣を発する要因となります。特に、玄関ドアを入ってすぐの場所に張り出しがあったり、靴箱などの収納が飛び出て鋭い角が玄関ドアから入ってきた人に向かっている場合＝右イラスト＝は、角を丸めます。



資料提供／横川明子

家づくりにおける琉球風水実践法 部屋別3

笑顔ある豊かな食卓に

琉球風水で心地よい家づくり ⑦

執筆／横川明子
（琉球風水スクール「アムリタ」主宰）

ダイニングルームは、これまで取り上げたリビング、玄関と同じく、陽の氣と相性の良いパブリック空間です。ダイニングルームの風水についてお話します。

健康・人間関係担うダイニング

ダイニングルームは、人体に例えると胃腸に相当し、家族の健康運をつかさどります。

また、人が集まって食事をする場であることから、人間関係運にも関連します。

おいしく食せる空間

食物は、健康に最も大きな影響を及ぼしますが、何を食べるかということと同じくらい、どのように食べるかも重要です。食事は、その場の雰囲気も一緒に吸収しますので、ダイニングルームの室内環境は健康運と関連します。

ダイニングルームは、食欲が湧き、笑顔で食事をすることをイメージしてインテリアを整えます。例えば、ダイニングテーブルの上は、赤みのある明るい照明にすると胃を活性化し、料理をおいしそうに見せる効果があります。

集う人をイメージして

来客を招き、一緒に食事を楽しむダイニングルームは、人間関係運もつかさどります。来てほしいお客さまの人数をイメージして、テーブルの大きさやいすの数を考え、部屋の広さを決めます。

また、テーブル周りは、立ったり座ったり、腰掛けている人の後ろを通る際などに必要なスペースがあります。設計の時点で、家具のレイアウトもしっかりイメージしましょう。

視線の向かう先はディスプレーも配慮し、花やグリーン、季節感のあるものを飾れば食事をする場が楽しく華やかになり、会話も弾むでしょう。

＝毎月第3週に掲載

ダイニングルーム設計の5ポイント

ポイント1
南側の陽の方位と相性が良い

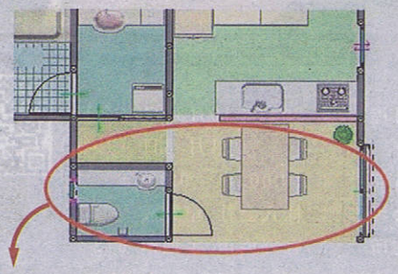
人が集まる空間なので、明るく、風通しが良く、眺めの良い空間に＝上写真。北側の陰の方位にある場合は、インテリアカラーや照明で明るさを意識し、家族の団らんをイメージさせるオレンジなど、温かみのある色を使うのも良いでしょう。

心を明るくし、楽しく幸せな気分を呼び込む色は、ダイニングルームと相性が良いといえます。赤、鮮やかなオレンジ、黄色などのビタミンカラーは、食欲を刺激してくれます。陽の氣の強い色は、ランチョンマットや花などのテーブル小物で、ポイントに取り入れるとよいでしょう。

ポイント2
トイレのドアは近過ぎない場所に

ダイニングルームの周辺環境で注意が必要なのは、トイレとの位置関係です。

トイレのドアがダイニングルームに面していると、食事中にドアを開けたときにトイレの中が目に入りますし、音もにおいもダイニングルームに漏れ出てきます＝下イラスト。トイレのドアは、ダイニングルームから直接見ることができず、奥まった位置にある方が生活は快適です。

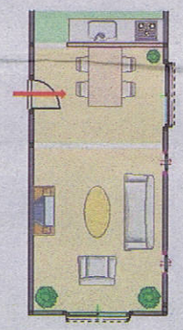


トイレのドアがダイニングルームに面している

資料提供／横川明子

ポイント3
ダイニングチェアの背後に扉がこないように

ダイニングチェアの背後に入り口がくると、座っている人が落ち着つきません＝右イラスト。ドアとダイニングチェアが接触する原因にもなります。座る場所の背後は、できるだけ安心できるような環境に。



よこかわ・あきこ ／東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。☎098-943-6948（受付時間/月～金10時～16時、土日祝休み）。
ホームページ http://aromarine.jp
ブログ http://ameblo.jp/marine-sapphire/

ポイント4
梁の下に座らない

天井に露出した梁（はり）がある場合、そこから氣が落ちてきます。装飾で取り入れるケースがよくみられますが、その場合は、座る位置の真上に梁がこないようにします。

ポイント5
紙類が収納できるスペースを近くにつくる

どうしても書類や郵便物などがたまりやすいダイニングテーブル。紙類の収納スペースは、ダイニングルームから動線の良いところに確保します。ファイルの色や形に統一感があると、すっきりと見えます。ギュウギュウに詰め込まず、少しスペースに余裕があると、氣の巡りも良くなります。

収納システム構築協力／根原典枝（合同会社暮らしかたらぼ）

家づくりにおける琉球風水実践法　部屋別4

衛生面と集いを意識

琉球風水で心地よい家づくり ⑧

執筆／横川明子
（琉球風水スクール「アムリタ」主宰）

キッチンは、リビング・ダイニング(LD)と隣接するプライベート性の高い空間です。キッチンの風水では、衛生面と換気、家族が集う環境造りが大切です。

健康つかさどるキッチン

食事をつくる場であるキッチンは、人体の肺や食道、胃に相当します。家族の健康をつかさどる場所ですので、衛生的な空間を保てる環境が必要です。

キッチンには固定された設備が多く、暮らし始めてからでは変更がほとんどききません。設計の時点で、細かいところまで入念に作りこみます。

衰えた氣の排出口

玄関が氣の入り口であるのに対し、衰退した氣の出口は水回りと勝手口です。キッチンは、料理の熱や飛び散った油などで汚れた空気が、衰退した氣となって出て行くところ。換気が重要なエリアです。

特に、オープンスタイルのキッチンでは、調理に伴う煙やにおいがLDK全体に広がりやすくなります。窓からの直接換気に加え、排気能力の高い換気扇を選びましょう。

家族が自然に集まる

主婦がキッチンで過ごす時間は、1日の中でもかなりの割合を占めます。キッチンで作業をしながら、家族の様子が見えることは、安心感につながります。

配膳や後片付けなど、お手伝いをしやすい環境をあらかじめ作っておくことも大切です。作業台として使えるスペースが十分にある、複数の人が入れる広さがある、LDからキッチンにいる人の様子が分かることは、自然と人が集まりやすくなる状況をつくります。

毎日の家事を笑顔でできる環境造りは、家族の幸せにつながります。＝毎月第3週に掲載

キッチン設計の6ポイント

ポイント1　プライベート性の高い空間

キッチンが玄関を入ってすぐに見えたり、リビングへ行く際の動線上にあると、外からの視線にさらされてしまいます。プライベート空間とパブリック空間が交差せず、きれいに分かれていると過ごしやすい空間になります。

LDKを一間にしたオープンスタイルの場合、キッチンにもパブリックな性格がプラスされます。生活感が出過ぎないよう、すっきりとした空間づくりが必要となってきます（上写真）。

空間の性質から、半陰半陽方位（西や東）にあると相性が良いことがよくあります。特にキッチンが東にあれば、毎日のスタートを朝日と共に気持ちよく迎えることができます。

南側に来る場合　直射日光や暑さが問題となるので、食材の保存などの観点から問題が出ないよう、窓の位置や大きさなどを考えます。

北側に来る場合　冬場の冷えで体調に問題が出ないよう、温かみのある色や素材を選ぶなど、快適に過ごせるように整えます。

一概にどの方位が良いとは言えません。ポイント2、3も踏まえ、住宅全体の氣の流れから判断します。

ポイント2　動線を考える

LDへの料理や飲み物の配膳や、片付けのための動線に加え、洗面所や洗濯場との家事動線、玄関から冷蔵庫への買い物動線など、暮らしのさまざまなシーンをイメージして、それぞれの動線が良くなるよう、キッチンの配置を考えます。

ポイント3

勝手口は玄関の対角に

氣の排出口となる勝手口は、玄関と対角の位置にあるのが理想的です。玄関から入ってきた氣が住宅の中を十分に巡った後に、排出される形になるからです。

ポイント4　心がより明るくなり、癒やされるような空間作りを

忙しく動き回る空間なので、心がより明るくなり、癒やされるような空間作りが大切です。窓の外に木々や海が見えるなど、自然の力で癒やされるような風景が広がれば理想的です。

キッチンは、収納扉のデザインでほぼ印象が決まります。「キッチンでどんな気持ちで過ごしたいか」、自分の心と向き合い、最適なインテリアに整えて下さい。

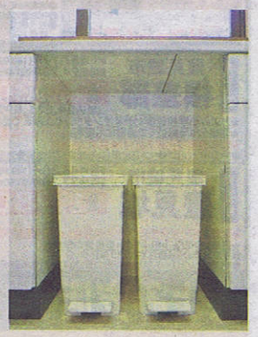
ポイント5　十分な収納スペースを

キッチンは片付け、整理整頓が最も大変な空間の一つです。必要な家電製品もたくさんありますが、レンジなど大型家電を除いて、通常は収納にしまい、使うときに出すことを基本すると、カウンターの上がすっきりします。常に片付いた空間は掃除がしやすく、衛生的な環境を保つのが楽になります。

よこかわ・あきこ　／東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。☎098-943-6948（受付時間/月～金10時～16時、土日祝休み）。
ホームページ http://aromarine.jp
ブログ http://ameblo.jp/marine-sapphire/

ポイント6

ごみ箱を置くためのスペースを確保



設計の時点でスペースを確保しておかないと、置き場所に困るのがごみ箱。あらかじめ、使いたいごみ箱が入るスペースを作っておきます。見た目や、においの問題から、ごみ箱はふた付きのものを。

家づくりにおける琉球風水実践法　部屋別5

氣の巡り考慮して配置

琉球風水で心地よい家づくり ⑨

執筆／横川明子
（琉球風水スクール「アムリタ」主宰）

トイレは設計時点での配置決めがとても重要です。住宅を巡る氣の流れ、陰陽バランス、パブリックとプライベートのつながりなどを踏まえ、最適な配置を考えていきます。

健康と財つかさどるトイレ

住宅を人体に例えると、玄関は口、トイレはお尻です。玄関から氣を取り込み、栄養分を十分に吸収して、最後に衰退した不要な氣を排出する場がトイレです。

玄関正面、中央は避ける

玄関からは、健康や運財運などさまざまな氣が入ってきます。玄関の目の前や住宅の中心にトイレがあると、入ってきた氣が住宅の中に留まらずに、流れ出てしまいます。

氣が住宅の中を十分に巡ってから排出されるよう、トイレは玄関の目の前を避け、玄関から離れた位置、動線的に長くなる位置に来るのが良いと言えます（ポイント2参照）。

住宅の中央は、氣が集まってきてとどまる場所。トイレがあると氣がとどまることなく流れ出てしまうので、中心からずらして配置します。

パブリック性も備える

トイレは静かに過ごす陰の空間で、基本的にはプライベート空間ですが、来客も利用する位置にあればパブリック性も出てきます。その場合は、お客さまも家族も心地よく利用できる配慮が必要です。トイレのドアが、人目にさらされないような環境に配置すると良いでしょう。

玄関の近くにあったり、リビング・ダイニングにトイレのドアが面していると、落ち着いて利用できません。少し奥まった位置で、トイレへの出入りが、人に見られないような配置を考えます。＝毎月第3週に掲載

トイレは明るく、清潔感があることが第一です。水の氣を清らかに保つことが健康運、財運を良くするカギ。湿気を溜め込まず、掃除が楽にできる環境に

トイレ設計の5ポイント

ポイント1　陰陽のバランスを整える

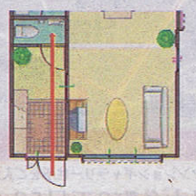
トイレなどの水回りは陰の空間で、落ち着いた氣を好みます。陰の方位（北側）や半陰半陽方位（東・西）が相性が良いと言えます。水回りが南側に来ると南風の流れの風上となり、住宅の中にニオイが広がりやすくなります。住宅全体の日当たりも悪くなります。

方位の相性はありますが、陰陽のバランスを整えることが、快適な空間づくりにつながります。北側では、陰気になり過ぎないように意識します。南側では、陽の氣が強くなりがちなので、色や素材で落ち着きのある空間づくりを心掛けます。鑑定では、全体を見て総合的な判断を行いますので、南側のトイレが常に大きな問題が出るわけではありません。

パブリック性がある場合には、花や植物を飾ったり、ファブリックや置物などを華やかにするなどして（上写真）、陽の氣をプラスするとよいでしょう。

ポイント2　玄関ドアとトイレのドアが向かい合わないように

玄関ドアの正面にトイレのドアがある



資料提供／横川明子

玄関の近くにあるトイレで注意するのは、ドアの位置です（上イラスト）。玄関ドアとトイレのドアが向かい合わせにならないようにします。もし、トイレを玄関の目の前に配置しなくてはならない場合は、動線を長くします。出入り口となるドアを玄関と反対側の奥まった位置に持ってくれば、大きな問題にはなりません。

ポイント3　窓をあける

トイレに窓がないと、暗くて汚れも見えにくく、ジメジメした環境になりやすいので、雑菌も繁殖しやすくなります。風水の視点からみれば、窓はある方が良いです。自然光が入り、直接換気ができる環境は、ニオイや湿気がこもりにくく、氣の巡りも良くなります。

収納スペースを確保し、外からの視線や防犯性、突然の雨などにも配慮した上で、落ち着いて過ごせる位置に窓をつくります。換気扇も併用して、衰退した氣を排出します。

ポイント4　掃除道具も消耗品のストックも収納できるスペースを確保

掃除道具や消耗品等、トイレで必要なものは全て隠してしまえるよう、スペースをあらかじめ確保します。トイレットペーパー等の紙類や、タオル・マット等の布類はニオイを吸収しやすいので、扉付き収納やふた付きの収納ボックス等に収められるようにします。

狭い空間なので、トイレ内に収納するものは必要最小限にしておき、トイレの近くにストックなどを収納するスペースを確保できると良いでしょう。

よこかわ・あきこ　／東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。☎098-943-6948（受付時間/月～金10時～16時、土日祝休み）。
ホームページ http://aromarine.jp
ブログ http://ameblo.jp/marine-sapphire/

ポイント5　トイレの便利な機能を活用

暮らし始めてからの毎日の使い方や豊かさも考え、便利な機能にも注目を。風水では、財運のもれを防ぎ、ニオイを広がらせないため、使用中以外、トイレのふたを閉めることを基本とします。ふたが自動で閉まる機能があると便利です。クラシック音楽や小鳥のさえずりなどのBGM機能も、心癒やされる空間づくりに役立ちます。

家づくりにおける琉球風水実践法　部屋別6

自然の氣、人の動きを意識

琉球風水で心地よい家づくり ⑩

執筆／横川明子
（琉球風水スクール「アムリタ」主宰）

水回りは、水の氣が過剰になり、氣の流れが停滞しやすい空間です。明るく、湿気を逃しやすい環境を意識して、陰陽のバランスを整えていきます。

健康運と財運　浴室・洗面所

健康運と財運をつかさどる浴室・洗面所は陰の空間で、プライベート性の高い空間です。ただし、洗面所はお客さまが利用することもあり、パブリックな一面もあります。来客の利用も踏まえ、プライベートを保つことができる配慮が必要です。

浴室は明るさと湿気対策

浴室は、陰気になり過ぎないよう意識し、自然光を取り入れ、内装に明るい色を選ぶと良いでしょう。ツルツル、ピカピカした素材は陽の氣を持ちます。氣の流れを速め、停滞を防ぎますので、浴室に適しています。

カビの発生を抑えられるよう、乾燥しやすい環境を心掛けると、日々のメンテナンスも楽になります。壁や床には、清潔を保ちやすく、乾きやすい素材を。湿気を逃すには換気も有効ですが、浴室乾燥機があれば隅々まで乾燥させることができます。

洗面所は動線に配慮

洗面所は、お客さまの利用も踏まえ、インテリアにもこだわって、おしゃれな空間に。収納やにおいにも気配りが必要です。

間取りを考える際は、来客・生活・家事動線など、人が作り出す人工的な氣の流れを整えます。来客動線では、リビングやダイニングとのつながりを意識します。帰宅後の手洗いがスムーズにできるなど、生活動線にも配慮を。物干し場やキッチンとつながる家事動線が良ければ、毎日の家事も楽になります。

太陽の光、風や水の流れなど、自然界の氣との調和を意識し、同時に、人の動きを丁寧にイメージします。住宅が自然と人と調和するとき、心地よい空間となります。＝毎月第3週に掲載

鏡は、洗面所の入り口ドアと向かい合わせにならない位置に設置します。ドアの正面に鏡があると、入り口から入ってくる氣を跳ね返してしまいます

浴室・洗面所の風水のポイント

ポイント1　陰の方位や奥まった配置に

水回りは陰の空間であり、落ち着いた氣を好みます。陰の方位（北側）や半陰半陽方位（東・西）と相性が良く、住宅の奥まった位置が適しています。ただし、風水の吉凶は住宅をトータルでみて判断しますので、方位にはこだわり過ぎないようにしてください。方位の氣に対して陰陽の調和が取れるよう、室内環境を整えることが大切です。

ポイント2　必要なものを隠して収納できる十分なスペースを確保する

洗面所は、収納するものが多いにも関わらず、収納スペースが足りないケースがよくあります。パブリック性もあるので、基本的に隠す収納にすると便利です。タオルやマット、消耗品のストック、掃除道具など、洗面所で必要なものを書き出してみましょう。全て隠してしまうことができるよう、スペースをあらかじめ確保します。

洗濯物バスケットは、扉付き収納に入れるか、ふた付きのバスケットにして、中の洗濯物が見えないように。浴室内で使うものは、必要な時だけ持ち込むほうが掃除は楽です。シャンプーや掃除道具は、湿ったまま浴室内に放置するとカビやにおいの原因になります。浴室のすぐ近くに、収納スペースがあると便利です。

ポイント3　物干し場も一緒に考える

洗濯物をどこに干すか、洗濯機との動線や外からの視線を配慮して、設計の時点でよく考えます。動線が短いほど家事は楽です。雨が降った場合にどうするかも、よく考えておきましょう。

部屋干しは、見た目やにおいで問題が生じ、風水では最もお勧めできない暮らし方の一つです。室内に、風通しが良く人目にさらされない専用スペースを確保する、衣類乾燥機を導入するなど、暮らし方を決めると最適な家の形が見えてきます。

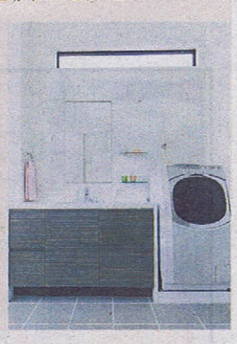
写真＝沖縄ガスショールーム「ゆ～くる」提供

ポイント4　パブリック性の高い洗面所は独立した空間に

パブリック性の高い洗面所は、浴室の脱衣所と一体化した空間の場合、プライベートが守りにくくなります。来客時や、複数の家族が同時に使うこともイメージしましょう。洗面所と脱衣所の間に仕切りとなる扉をつけるなど、独立した空間にするとプライベートが守られます。

ポイント5　窓の位置や大きさは、家電や家具の配置を決めてから

例えば、洗濯機の上部に窓があると、衣類乾燥機を導入した場合、窓をふさいでしまいます。暮らしを見据えて、洗面台や鏡、洗濯機、収納など必要な設備をレイアウトした上で、窓の位置や大きさを決めます。空間が狭い場合は、高窓やスリット窓で採光を。外からの視線や防犯性にも配慮が必要です。



よこかわ・あきこ　／東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。☎098-943-6948（受付時間/月～金10時～16時、土日祝休み）。
ホームページ http://aromarine.jp
ブログ http://ameblo.jp/marine-sapphire/

家づくりにおける琉球風水実践法　部屋別7

眠りを重視して整える

琉球風水で心地よい家づくり ⑪

執筆／横川明子
（琉球風水スクール「アムリタ」主宰）

寝室は疲れた体を休め、明日に向けてエネルギーを充電する空間です。安心して快眠できる室内環境を整えることにより、風水の良い寝室ができあがります。

ベッドのヘッドボードが壁について安定していると頭が守られた状態になり、安心感があります。落ち着きのある色合いはほどよく陰の氣を補い、心地良い眠りの環境をつくります

健康・愛情つかさどる寝室

寝室は、健康運・愛情運をつかさどります。寝室の風水というと、まずは枕を向ける方位が吉凶を左右すると思っている方も多いかと思います。確かに琉球風水鑑定では枕の方位も見ていきますが、優先順位は高くありません。

現実的な暮らしの心地よさを考えて、風水を家づくりに取り入れるのであれば、眠るための機能を重視して室内の形をつくることが第一です。風水で寝室の形を整えると、良く眠れる毎日を過ごせる家になります。

設計時点で取り入れる

氣の流れの良い家具のレイアウトにするためには、そのフレームとなる住宅の壁や窓、ドアの位置が適切であることが条件になります。ですから家を建ててしまってからでは、変更ができません。しかし、設計の時点であれば、簡単に風水の良い寝室をつくることができます。

風水では寝室は長い時間を過ごす重要な空間であるため、注意事項も多数あります。ここでは、良い形の寝室のつくり方に焦点を当てて解説します。これは基本設計が始まり、ある程度の間取りが決まっている段階でも、取り入れることができます。

ベッド配置を優先に

快適な寝室づくりのポイントは、氣の流れの良い家具のレイアウトです。まず、ベッドを最適な位置に配置した上で（左イラスト参照）、ドアや収納、窓、エアコンの位置を考えます。

頭上に天井から出っぱる梁＝写真＝やエアコンがこないように

陰の比率高めでゆったり

四角形の立体の中で眠るような環境が、寝室の理想的な形です。避ける形は、頭上の天井の梁（はり）（右写真）、斜め天井、壁の張り出しです。収納スペースをあらかじめ確保することは、地震などで家具が倒れる危険性の回避になるため、安心できる眠りの環境づくりには大切な要素です。

寝室は陰の空間のため、陰の比率を高くするとバランスが取れます。陰の方位である北側に寝室を配置する、北側に枕を向ける。窓は大き過ぎず、落ち着いた色合いを選ぶことなどは、良い意味で陰が強くなります。

質の良い眠りに導くためには、リラックスできる室内環境に。間接照明や優しい赤みのある光は副交感神経に作用し、気持ちを落ち着かせてくれます。

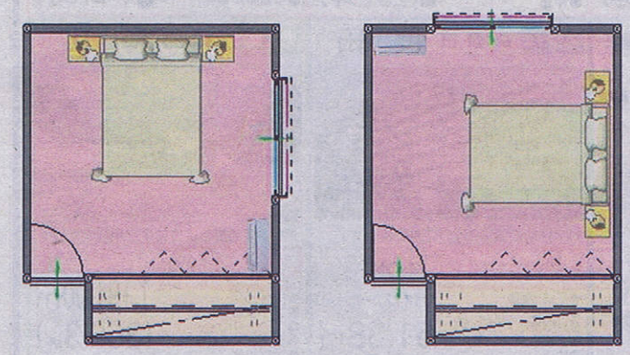
デスクワークをする書斎や、テレビを見るリビングの機能がプラスされると、交感神経も優位になりがちです。機能別に空間を分けると、暮らしはより快適になります。

ただし、決まりを守ることにとらわれ過ぎず、好むライフスタイルも大切にしてください。

＝毎月第3週に掲載

よこかわ・あきこ　／東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。風水スクールの講師や住宅などの風水鑑定を行っている。新築の家づくりで琉球風水の取り入れ方を伝える９日間無料メールセミナーを配信中。　ホームページ http://aromarine.jp
ブログ http://ameblo.jp/marine-sapphire/

好ましいベッドの配置



1. ドアから見て対角にある壁に、ベッドのヘッドボードをつけます。寝ている位置の前方にドアがあると、誰か入ってきてもすぐに分かるので、安心です。
2. 窓はベッドの側面に開けます。ベッドの枕側は、壁で守られている必要があります。ベッドの頭上に大きく窓を取ってしまうケースが多く見られますが、窓から氣が入ってくるため眠りを妨げます。ベッドの頭上側の壁に窓を開ける場合には、ヘッドボードが接していないスペースに、スリット窓をつくります。
3. 隣の部屋と接する壁に収納があると、音が伝わりにくくなります。また、寝姿を映す鏡は、風水では望ましくありません。寝室では鏡付きの収納扉を避けます。使用しているベッドの寸法を測り、収納扉とベッドの間の通路幅も十分に取ります。
4. エアコンは、寝ている体に直接、風が当たらない位置、寝ている頭の真上にこない位置に設置します。エアコンの位置、ベッドの位置が決まれば、コンセントの最適な位置も見えて来ます。

家づくりにおける琉球風水実践法　部屋別8

家族で成長見守る空間に

琉球風水で心地よい家づくり ⑫

執筆／横川明子
（琉球風水スクール「アムリタ」主宰）

子どもが使うスペースは、時間の経過にともなって空間の機能も変化します。変化に対応しながら、子どもの心の成長を見守ることのできる家にしたいですね。

経年で機能変わる子ども部屋

家を建てる時の子どもの人数や年齢、子ども同士の関係性などによって、最適な子ども用スペースは家族で異なります。「これが良い」という形は一概には言えませんが、家族の心が調和すること、心が向かい合うことを意識して空間をつくります。

一緒に過ごせる工夫を

子ども部屋としての個室に、机とベッドを置くスタイルは多く見られます。一方、リビングの近くに勉強机を置き、子ども部屋は狭くして寝室として使うケースも目立ってきています。

子どもの眠る場所、勉強する場所、収納スペースを1つの個室にまとめるのか、それぞれの機能別に分けるのかで、空間構成の概略が大きく変わります。

勉強に適した環境と、眠るのに適した環境は違います。どの部屋で何をするかを考えると、必要な家具、広さ、収納スペースのイメージがわいてきます。機能別に空間を分ける場合は、パブリック空間かプライベート空間かを意識して、部屋の配置を考えます。

大人もパソコン作業をします。例えば、リビングの近くに、家族が集まってデスクワークができるスペースがあれば、家族の存在をいつも近くに感じることができ、コミュニケーションも図りやすくなるでしょう。

起きている時間は、家族ができるだけ一緒に、楽しく過ごせる時間をつくれるように。一方、子どもの寝室は、リラックスして、心を癒やすことのできる場になるよう意識しましょう。

変化に対応しやすく

子どもが使うスペースは、成長段階に応じて適した空間の形や必要とする氣が変化します。

幼少期は陽の氣を多く必要とし、明るく鮮やかな色で、カラフルな空間に。勉強が中心の時期には、心を落ち着かせる青や緑などの寒色系を取り入れると集中力が上がります。

例えば、壁のベースをシンプルにして、一面だけを成長に合わせて好きな色や柄を選べるようにすると、簡単にインテリアの変化を楽しむことができます。

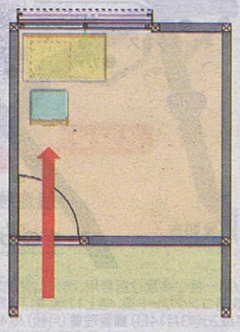
可動式の間仕切り家具などを使えば、子どもが独立した後も形を変えて利用できます。10年、20年先を見据えて、空間をフレキシブルに使える工夫が大切です。

＝本連載は今回で終了

勉強する、眠るなど、複数の機能が混在するスペースは、緩やかに空間を仕切るのもお勧めです。気持ちの切り替えが楽にできます

よこかわ・あきこ　／東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。新築の家づくりで琉球風水の取り入れ方を伝える9日間無料メールセミナーを配信中。
ホームページ http://aromarine.jp
ブログ http://ameblo.jp/marine-sapphire/

机の配置

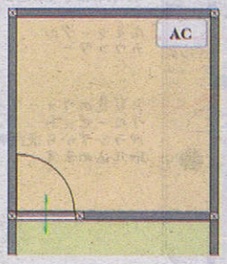


資料提供／横川明子

集中力を上げ、安心感のある環境をつくるため、机の配置にはいくつかの注意点があります。特に、扉と窓の位置が大きく影響しますので、新築の際には、机のレイアウトをしっかりイメージしてから、扉と窓の位置を決めます。

1. 机の配置で気を付けるのは、座っている時の背中が、悪い氣にさらされず、守られた状態で座ることができるようにすることです。背後が無防備にならないよう、後ろに窓が来ないように。また、背後から直進して入ってくる悪い氣を受けてしまわないよう（上イラスト）、背後にドアが来ない位置に机を配置します。
2. 上イラストのように、机を窓に向けると目線が外に行ってしまい氣が散りやすくなります。できるだけ、机の前には壁が来るように配置します。
3. 机の上や前方上部などにはものの置き場をつくらず、すっきりとした状態にすることで氣が散ることを防ぎ、集中力が上がります。座った時に、遊び道具など勉強する以外のものが目に入らないよう、収納スペースにも配慮します。

エアコンの配置で気をつけること



子ども部屋で気を付けたいのは、エアコン（AC）の配置です。

ドアから対角線上のコーナー（左イラスト）は、氣がとどまる最も落ち着く場所です。ベッドの頭を向けたり机を置いたりするのに適した場所ですので、ここにエアコンを設置すると、体に直接エアコンの風が当たることになります。家具のレイアウトをイメージして、快適に過ごせるようエアコンの位置を考えてください。

◇　◇　◇

風水を考慮した家具レイアウトは一見難しいかもしれませんが、まずは今の環境でできることから実践してみてください。良いレイアウトにできない場合、その原因が何かを知ることが新築の家造りに生かされます。